

既存の福祉制度からこぼれた人を受け入れ

「緊急一時支援」 全国ネット発足 仙台などの8団体参加

直ちに支援が必要なのに、既存の福祉制度では救えない人を受け入れる「緊急一時支援」に取り組む全国の福祉施設が連携組織を設立した。意見交換や交流により、互いの活動を支え合うのが狙い。施設運営者らは協力関係の構築や、運営ノウハウの共有に期待する。

連携組織「緊急一時支援全国ネットワーク」は5日に発足。世話人として仙台市、広島市、茨城県常総市などの8団体が参加し、約30の福祉施設なども「同志」として参画した。事務局は、仙台市青葉区で緊急受け入

オンラインで開かれたシンポジウムに参加する関係者ら
=6日、仙台市青葉区



ひなたはつこは2010年に火事で焼け出された高齢女性の宿泊を引き受けたのを機に、生活が困難な人をいつでも受け入れる。CLCの高橋正佳さんは「この団体も運営が厳しい。どういう補助事業や制度を活用すればいいのか情報交換したい」と述べた。

れ施設「国見・千代田のより処 ひなたはつこ」を運営するNPO法人「全国コミュニティライフサポートセンター(CLC)」(青葉区)が担う。既存制度の多くは、要介護者や障害者、女性、子ども、困窮者の属性ごとに対象が分かれる。各地のサポート付きシェアハウスや介護施設などが、制度のはきまで支援対象になりにくい人向けに宿泊を伴う緊急一時支援に取り組んでいる。近年、団体間で意見交換を重なる幅が広がるといって話した。

運営ノウハウ共有活動支え合う

インターネット通販で購入した製品による事故が増えている。海外業者が直接販売している品では、粗悪な作りが原因の事故も目立つという。

◆ ◆ ◆

製品評価技術基盤機構(NITE、東京都渋谷区)には、海外業者が直接販売したり、製造輸入業者が特定できなかったりした製品による事故が、2023年度までの10年間に433件通知された。

品目別ではバッテリーの事故が228件と突出しており、他に照明器具で43件、充電器10件の通知があった。事故原因は、製品自体の問題によるものが多かった。

バッテリーや照明器具から発火



過充電を検知できない構造になっている電動工具用バッテリーの電池。過充電により出火した(NITE提供)

た。電動工具用バッテリーを充電中に発火した24年3月の事故では、過充電が起きても検知できない構造だったため、異常発熱に至り火が出たと考えられるという。

23年7月に発光ダイオード(LED)ランプの電源プラグ周辺から出火した事故では、プラグと電源線がしっかり接続されていなかったことが判明。同様に異常発熱を引き起こしたとみられるという。

NITEは、ネット通販を利用する際に気を付ける点として、極端に安価な製品は安全性を保つための費用をかけていない恐れがあるとして、「高評価の口コミがやられてはいないか」「業者の連絡先が実在する」



海外業者が直接販売していたLEDランプの電源プラグ。プラグと電源線の固定が不十分で、電源線は細い(NITE提供のX線画像)

粗悪な海外製品で多発

か「なをを確認するよう勧める」。

海外業者が直接販売している製品の中には、必要な検査をしていないのに、技術基準を満たすことを示す「PSマーク」を付けている例もあるという。

一部の大手インターネットモールでは、海外業者が直接販売している製品かどうか分かりにくい場合があることに注意が必要だ。

政府は法改正を行い、問題がある製品の出品削除をインターネットモールに要請できるようにする規定などを追加した。改正法は12月から施行される。

結婚してから夫婦共通の趣味は温泉巡り。とりわけ濁り湯に目がない。運よく仙台行きの航空チケットを手に入れ、初めて宮城県大崎市の鳴子温泉郷の宿へ行くことになった。

名湯が自慢のその宿は、建物こそ新しくはないものの、手入れが行き届いているため心地よさを感じる。温泉は日によって湯の色が変わり、この日は幸運にも私好みの白い濁り湯を楽しめた。

翌朝の朝食バイキングで感動的な出来事があった。その宿は96歳の大女将が自ら振る舞うあんこ餅と雑煮が名物という。「お餅は何個になさいますか?」「あ

おばあちゃんのおもてなし

角田 昌子

んこはたくさんかきますか?」と実にかいがいいく好みを聞いてくれて、手際良くお餅を丸めてちぎってくれた。おばあちゃんの家にいるような温かさや懐かしさを感じた。大女将は肌艶が良く、96歳とは思えない若々しさだった。

朝食を済ませた宿泊客は次々に大女将に駆け寄り、感謝の言葉をかけていた。その中でも覚えていたのは、つづきを突き、93歳と自分を紹介していた女性客で、「私も頑張ります」と伝えている。

本当のおもてなしとは、心のこもった「言葉」一つなのかしらない。

(札幌市中央区・主婦・52歳)

ティータイム

友人と待ち合わせのため、久しぶりにバスに乗った。バスが停留所に止まると、「お待ちでしたしました。このバスは〇〇経由のバスです。お足元に気を付けて乗車ください。発車します。」「わー、声優さんみたい。女性運転手さんのとても素敵な声が車内に流れた。

透明感があり、何てきれいな声だろう。もうそれだけで今日は運がいいぞと思つた。乗車中も「次は△△です。右に曲がります。ご注意ください。うっとり聞きほれていたら、このバスは指定時刻より遅れており、ご迷惑をおかけして申し訳ございません。エデナウンスが流れた。

すてきな声の運転手さん

加藤美紀代